

みんなにフラボー!



2022年度看護集会

日時:2023年4月15日(土)

14:00~

場所:みみはらホールA

医療現場をカラフルに Save All Life

▶ 部署・事業所の紹介ムービー



看護集会全員でハイチーズ

法人全体で3年ぶりの開催

多彩・多様な報告で、たくさんの学びと共有ができた

4月15日の午後、耳原総合病院にて2022年度看護集会を開催しました。



今村看護部長

一昨年は総合病院のみ開催し、昨年は総括動画の視聴だけでしたが、今

① 同仁会看護部方針を認める大切な場とし、事業所・部署の1年の看護実践の頑張りや互いに称え、振り返りから課題をみつけ、質の向上につなげる
② 事業所・部署の垣根を越えて同じ目標をもつ仲間同士、目標達成に向けて互いに協力し連

年は同仁会全体の集合形式で開催しました。

目的は

① 同仁会看護部方針を認

携強化につなげる

です。テーマは『みんなにフラボー!医療現場をカラフルに』 Save All

Life』と掲げ、コロナ禍のため、参加人数を制限し、40人が集まりました。今村法人看護部長から、この1年、厳しい状況の中でも頑張つて奮闘

してきたことを労い、称賛するメッセージがあり、開会となりまし

初めに、法人看護部の総括・方針、次に耳原総合病院

総括・方針、その後部署・事業所の報告と続きました。日々忙しい中、悩みながら患者視点で業務改善をす

すめた実践や新しい取り組みなど、多彩・多様な報告でした。その後、部署・事業所の紹介ムービーが流れ、参加者の表情が和み、笑いあり歓声ありで大盛況となりました。



看護集会実行委員

〈参加者の感想〉

- 貴重な時間を過ごすことができ良かった。
- 看護部の方針や方向性を再確認でき、他事業所、部署の活躍も聞くことができ、よい刺激となった。
- とても良かったので参加人数の拡大がハイブリッドでの開催にしてほしい。
- ムービーは今まで知らなかった他の事業所・部署のことが良く分かり、今後、連携しやすくなる感じた。

「研修医育成」に皆さまの声を

右のQRコードからアンケートへのご協力をお願いします。(耳原総合病院研修委員会)



最後に、今村法人看護

部長から、今日の集会で

「申し送りを見直すこと

で患者さんのところへ早

く行けるようにした実践

内容」や「鳳クリニック

がA1問診導入したこと

と」など、たくさんの学

びと共有ができたと思

ます。

患者さんは入院・外来

・在宅などそれぞれの場

面で終わりではなく、す

べて繋がっています。

今後はさらに連携の強化

が必要になります。今日

の学びを23年度の目標に

加え、1年後、頑張った

実践が報告できるように

力を合わせていきましょう、とエールが送られ、

閉会となりました。

自分たちの目指す看護

や方針を再確認でき、実

践に活かし目標に向かっ

て邁進したいと感じまし

た。

新たな歴史に向かって

鳳エリア建替え運動の道

④

皆さんに早く見てもらいたい 利用してもらいたい

私は1997年、長女が1歳半の時に旧耳原鳳病院に看護師として入職しました。長女は、隣のひまわり保育園、次女は鳳共同保育所(ちぐさの森)に預けながら病棟で勤務していました。ママチャリの前と後ろに子どもを乗せながら毎日通勤していました。

当時は救急搬送もあり24時間フル稼働でした。娘たちには、「家にいる私はいつも寝ている、だから絶対看護師にならない」と(笑)：言われたこともありました。その娘たちも今は2人とも社会人です。やっぱりどちらの娘も看護師にはなりませんでした。(泣)

2008年3月に、耳原総合病院にリハビリ病棟が移転したのと同じ年に、私も耳原総合病院へ異動となりました。そして2年前に、12年間を

て再び耳原鳳クリニックへと戻ってきましたが、クリニックの老朽化には驚かされました。壁の抜け落ち、水道の不具合、隙間風がクリニック全体にあることなど、建替えの必要性を痛感しました。利用者の皆さんにはご不便をかけていると感じています。鳳へ戻ってきて嬉しいことがありました。昔、保育所で一緒に子育てしていたお母さんやお父さん、そして保母さんに久しぶりに会えたことです。「子どもどうして

野田由貴子

管理師長

(耳原鳳クリニック)